

第58回全国母子生活支援施設研究大会 開催要綱

大会テーマ

家族を支える支援を目指して

～地域を基盤としたソーシャルワークの視点で

母子生活支援施設で何ができるか～

1. 趣 旨

今日、母子世帯や子どもを取り巻く社会環境の大きな変化により、支援を必要とする世帯は増加していくことが見込まれる一方で、その支援にあたる母子生活支援施設は、施設数や利用世帯数が減少傾向にあり、稼働施設の約4割の施設で暫定定員が設定されています。この状況は、私たち母子生活支援施設自身が、改めて母子世帯のニーズや生活実態に立ち返り、母子生活支援施設のあり方を考える必要があることを示唆しています。

全母協では平成25年度から、これからの母子生活支援施設の役割、支援のあるべき姿を明らかにすることを目的に「私たちのめざす母子生活支援施設」（以下、ビジョン）を策定する特別委員会を立ち上げ、2年をかけて検討を進めてきました。

特別委員会では、インケアの充実はもとより、退所後のアフターケアまでの切れ目のない支援の必要性、地域で生活する母子家庭の多様なニーズに応えていくための制度的な課題、職員の育成等について学識者や女性支援組織、行政関係者から貴重な意見をいただきました。ビジョンはこれからの母子生活支援施設を見据えた支援の方向や施設の運営等について提言するものとなります。

母と子の主体性とニーズを尊重した支援の実践を地域に広げ、信頼される施設づくりを展開するために、本研究大会では、ビジョンで目指す母子生活支援施設のあり方等について研究協議し、一層の母と子への支援の充実、職員の資質向上をはかることを目的に開催します。

2. 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会

社会福祉法人 京都府社会福祉協議会（調整中）

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会（調整中）

3. 後 援（予定）

厚生労働省、京都府、京都市

全国母子寡婦福祉団体協議会、全国母子自立支援員連絡協議会

4. 期 日

平成26年10月2日（木）～3日（金）

5. 会 場

「京都国際ホテル」〒604-8502 京都市中京区堀川通二条城前 Tel.075-222-1111

〔最寄駅〕京都市営地下鉄東西線「二条城駅」下車 2番出口より徒歩2分

JR京都駅より市バス（9・50系統）「二条城前」下車 すぐ

※周辺地図等詳細はお申込み受理後、参加券等とあわせてお送りします。

6. 参加対象（定員 250 名）

- (1) 母子生活支援施設の役職員（法人の役員および施設長、職員）
- (2) 都道府県・指定都市・中核市・市区町村行政の母子・児童福祉関係者
- (3) 社会福祉協議会の母子・児童福祉関係者
- (4) 児童養護施設等の社会的養護を担う児童福祉施設の役職員、里親及び関係者
- (5) 母子寡婦福祉団体関係者、民生委員児童委員、母子自立支援員 等

7. 参加費 17,000 円

8. 交流会費 8,000 円（宿泊・昼食代等は別途申込書をご参照ください。）

9. 日程、プログラム

【1日目：10月2日（木）】

12：00～13：00	受付
13：00～13：30	開会式・永年勤続表彰
13：30～14：30	行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課
14：30～15：15	基調報告 全国母子生活支援施設協議会 会長 大塩 孝江
15：15～15：30	休憩
15：30～17：30	シンポジウム ～「私たちのめざす母子生活支援施設」（ビジョン）の地域における具体的な実現に向けた取り組みについて～ 〔コーディネーター〕 神奈川県立保健福祉大学 顧問 山崎 美貴子 氏 〔シンポジスト〕 大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授 岩間 伸之 氏 龍谷大学 臨床福祉学科 教授 山辺 朗子 氏 全国母子生活支援施設協議会 総務委員/千葉県・国府台母子ホーム 川口 学
17：30～18：00	休憩
18：00～20：00	交流会

【2日目：10月3日（金）】

9：00～12：00	テーマ別分科会での自由研究発表 第1分科会 暫定定員をめぐる課題と対応 〔助言者〕 中島 尚美氏（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 特任講師） 芹澤 出（全国母子生活支援施設協議会 制度施策委員長/京都府・野菊荘） 稼働施設の約4割の施設で暫定定員が設定されているという厳しい現状の中、暫定定員を解消した施設の事例や課題と対応などについて研究・討議します。 第2分科会 果たすべき母子生活支援施設の役割 〔助言者〕 山辺 朗子 氏（龍谷大学 臨床福祉学科 教授） 乙部 公裕（全国母子生活支援施設協議会 研修広報委員長/三重県・みのり苑） 「私たちのめざす母子生活支援施設」（ビジョン）最終とりまとめ（案）を踏まえ、現在行われている支援事例や各ニーズへの対応、取り組み、実現に向けた課題などについて研究・討議します。
------------	---

	第3分科会 社会貢献と情報開示の取り組み 〔助言者〕 櫛田 匠 氏（全国社会福祉法人経営者協議会 経営対策委員長/ 社会福祉法人みねやま福社会 理事長） 廣瀬 みどり（全国母子生活支援施設協議会 総務委員長/大阪府・ 東さくら園） 「社会福祉法人の認可について」の一部改正について（5月29日）や「社会福祉法人制度の在り方について」（7月4日）により、社会福祉法人には法人運営の透明性の確保、地域における公益的な活動を実施する取り組みなどが求められることとなりました。地域における社会福祉法人・施設としての役割などについて研究・協議します。
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～13:35	第39回（平成25年度）資生堂児童福祉海外研修報告会 京都府 野菊荘 相談支援員 平尾 一乃 氏 広島県 尾道母子生活支援センターエスポワール 少年指導員 村上 幸治 氏
13:45～15:15	記念講演 「地域を基盤としたソーシャルワークの展開 ー個と地域の一体的支援ー」 大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授 岩間 伸之 氏
15:15～15:20	大会アピール
15:20～15:30	閉会式

【タイムテーブル】

		12:00	13:00	13:30	14:30	15:15	15:30	17:30	18:00	20:00
2日 (木)		受付	開 会 式	行 政 説 明	基 調 報 告	休 憩	シンポジウム	休 憩	交 流 会	
3日 (金)	3分科会での自由研究発表	昼 食 休 憩	海 報 外 研 修	記 念 講 演	大 会 総 括 閉 会 式					
	9:00	12:00	13:00	13:45	15:15	15:30				